

- 1 だいまくは、一ぎようめに、がつこう・がくねん・くみ・なまえは二ぎようめにかき、ぶんしようは、三ぎようめの二ばんめのますからかきましよう。
- 2 だんらくのはじめは、かならず一じぎけてかきはじめ、だんらくごにぎようをかえましよう。
- 3 しほのぎようも三ばんめのますからかき、あたまをそろえましよう。

月

日

ようび

たい三岩
 一そう小二年 山下 青汰
 ぼくがはじめてたい三岩に行
 たのは、エコたいのながまたちと
 いっしょでした。エコたいでは、
 みんなママがパパはついでに
 ン。エコたいの大人たちがつれて
 いてくれました。
 スタートちてんは、くす川ほど
 うでした。みちには、草やこけが
 たくさんあって、へびがいきました。
 もしも一人だけ、たぐ、こわくて
 すすめながかっと思います。でも
 おレがべりしながら歩いたら、す

No. 1

- 4 よみやすいようになんをうけましよう。も。もひとますのなかにかきましよう。
- 5 おはなしたことは、「」のなかにいれましよう。
- 6 「は」と「お」を「へ」と「お」を「と」をまちがえずにつかうけましよう。

(不許複製)



ぐに白谷うん水ままうにフままし

た、

その日は、白谷小やにとまりま

した。よるごはんは、みんながな

べを作って食べました。きりいな

ものもあつたけど、外で食べるも

おいしかつたです。

つぎの日は、日の出を見るたた

いに、女メ早く出はつしました。ね

むたくて歩くのがすこしいかだつ

たけれど、日の出を見るたた女メにか

んは、多タうも思シいました。く分のクブン木キ

の中をライトびてらしてすすんで

いくのは、マわかつたけれど、ぼボう

1 だいまくは、一きようめに、がつこう・がくねん・くみ・なまえは二きようめにかき、ふんしよは、三きようめの二ばんめのますからかきましよう。
2 だんらくのはじめは、かならず一じさけてかきはじめ、だんらく(こと)にきようをかえましよう。
3 しほどのきようも三ばんめのますからかき、あたまをそろえましよう。

(不許複製)

4 よみやすいようた、をうけましよう。も、ちひとますのなにかきましよう。
5 おはなした(て)は、「」のなかにられましよう。
6 「は」と「お」の「」を「お」とをまちがえずにつかいわけましよう。



- 1 だいまくは、一きようめに、がっこう・がくねん・くみ・なまえは二きようめにかき、ぶんしょうは、三きようめの二ばんめのますからかきましよう。
- 2 だんらくのはじめは、かならず一じさげてかきはじめ、だんらく二じにきようをかえましよう。
- 3 しほのきようも三ばんめのますからかき、あたまをそろえましよう。

月 日 ようび

けんをいしているみたひびすこわか
くわくしました。ヤクシカの音が
聞こえたけれど、すかたは見えま
せん。でした。ヤクシカはことなま
くぐりい中ですごしていてすごい
と思ひました。たいコ岩い近づい
こくるよ、とておキラうな道をめ
ぼやかくではいけませんでいた。
足もとの石が道かぬれていて、す
べりそうで二わか、たてす。足を
すべがせただけ、お、こちてしま
と思、て、ゆ、くツしんちキラに
すすまいました。まだアかないの
かな、となんじも思、ていたが、

- 4 よみやすいようた、と。をうけましよう。、も。あひとますのなかにかきましよう。
- 5 おはなした、と。は、「」のなかにいれましよう。
- 6 「は」と「わ」の「」を「と」をまちがえずにつかいわけましよう。

(不許複製)



「たいこ岩についたよ。」

といわれて、やっぱりついてしま

しました。

たいこ岩の上は、すこし明るく

な^っていたけど、見おろす森林には

キツがかか^っていました。日の出

のいかんにな^っても、キツがかか

たままで、白いけしき^ごでした。

日の出が見えなくてとてもざん

ねん^ごでした。

たいこ岩の上で、日の出を見る

ために、もう一どのぼり^{たい}と思

います。オレンジ色の日の出が見

たいです。

1 だいちくは、一きようめに、がっこう・かくねん・くみ・なまえは二きようめにかき、ふんしよは、三きようめの二ばんめのますからかきましよう。
2 だんらくのはじめは、かならず一じきけてかきはじめ、だんらくごにきようをかましよう。
3 しほのきようも三ばんめのますからかき、あたまをそろえましよう。

月 日 ようび

(不許複製)

4 よみやすいようた^ごを^ごつけましよう。も、ちひとますのなにかきましよう。
5 おはなした^ごは、「」のなかにいれましよう。
6 「は」と「わ」の「」を「と」をまちがえずにつかいわけましよう。

